



取扱説明書

MDヘッドユニット

MDM-7760J



CDヘッドユニット

CDM-7870J



目次

安全にお使いいただくために

目次	表紙
警告 / 注意	2

基本操作

リセットする	4
電源のON/OFF	4
ディスプレイの角度調整	4
ディスプレイの開閉	5
音量 / バランス / フェーダーの調整	5
MD操作 (MDM-7760Jのみ)	
MD (ミニディスク) を聴く	6
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	7
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	7
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	7
CD操作 (CDM-7870Jのみ)	
CD (ディスク) を聴く	8
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	8
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	9
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	9
ラジオ操作	
ラジオを聴く	10
放送局を記憶する	10
自動的に放送局を記憶する	10

記憶した放送局を受信する	11
D.A.P.を利用する	11
D.A.P.の切り替え	11
D.A.P.で放送局を記憶する	11
D.A.P.で記憶した放送局を受信する	11
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	11

チェンジャー操作	
チェンジャーでCDを聴く	11

便利な機能	
LOUDNESS (LOUD) を使う	12
ミュートのON/OFF	12
低音を強調する (バスセンター周波数)	12
高音を強調する (トレブルセンター周波数)	13
レベルインジケータの表示パターンを切りかえる	13
MDタイトルを表示する / スクロールする (MDM-7760Jのみ)	14
CDテキストを表示する / スクロールする (CDM-7870Jのみ)	14
時刻を表示する	15
時刻を設定する	15
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	15
外部入力の設定	15

取り付けと接続	16
----------------	----

その他	
故障かな?と思ったら	19
規格	20
保証について	20
お問い合わせ窓口	21

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
 FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711
 電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
 電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。
 アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (S)

68P01434K30-O

⚠️ 安全にお使いいただくために

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



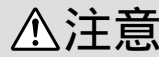
強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

取り扱い上のご注意（MD）

ミニディスク（MD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使用できるディスクについて

下記ディスクマークのついているコンパクトディスクをお勧めします。

また、本機は音楽専用のCD-R（CD-Recordable） / CD-RW（CD-ReWritable）再生が可能です。

MP3ファイル形式のCD-R/CD-RWは再生できません。

・ 次のようなディスクは、再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている / 長時間車内に放置した / データ書き込み状態が不安定



コンパクトディスク（CD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼ったり文字を書いたりしない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリーを使わない。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

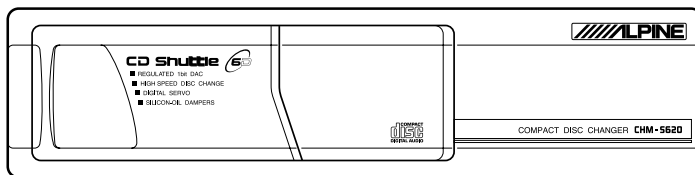
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！

CD CHANGER

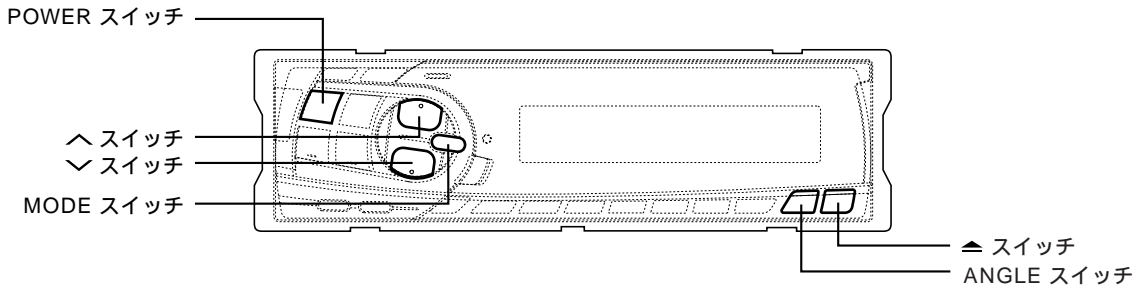


CHM-S620

車室内にもセットできる超小型サイズのCD 6枚チェンジャーが、音質をグレードアップして新登場。今回お買い上げのヘッドユニットをコントロールセンターに、アルパインの高性能チェンジャーをプラス。すると、いつまでも大好きなサウンドに包まれながらドライブできる、快適なサウンド空間が実現！このシステムアップで、ノンストップデジタルパワープレイを思う存分、ご体験ください。



基本操作

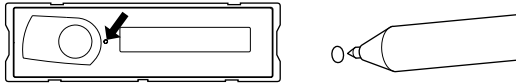


基本操作

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

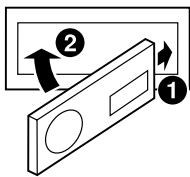
- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「POWER」を3秒以上押し、電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。



Memo リセットすると、時刻や記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。

フロントパネルは取り外さないでください。取り外してしまったら、次の方法でもとに戻してください。

- ① 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
- ② 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



Memo 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっているも故障ではありません。取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。



電源のON/OFF

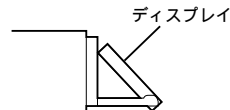
- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「POWER」を押す。電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「POWER」を3秒以上押す。

Memo 電源は「CLK」、「▲」、「▲」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CDまたはMDを挿入すれば電源が入ります。

ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度（3段階）に調整することができます。

- 1 「ANGLE」を押して希望の角度に調整する。調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。



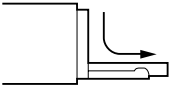
Memo ディスプレイは、イグニッションキーをOFFにしてしばらくすると全閉します。次に本機の電源をONにすると、調整した角度となります。



ディスプレイの開閉

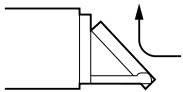
イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

- 1 「▲」を押す。
ディスプレイが開く。



(ディスプレイが開ききった状態)

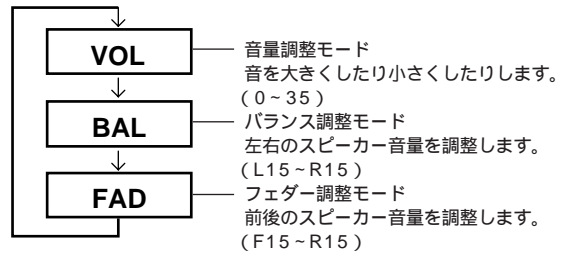
- 2 開いたディスプレイを戻すには、「▲」を押す。
 - ・角度調整あり
ディスプレイは記憶された角度になる。
 - ・角度調整なし
ディスプレイは全閉する。





Memo ディスプレイが開ききった状態では、「▲」以外、操作できません。
イグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全閉します。



音量 / バランス / フェダーの調整

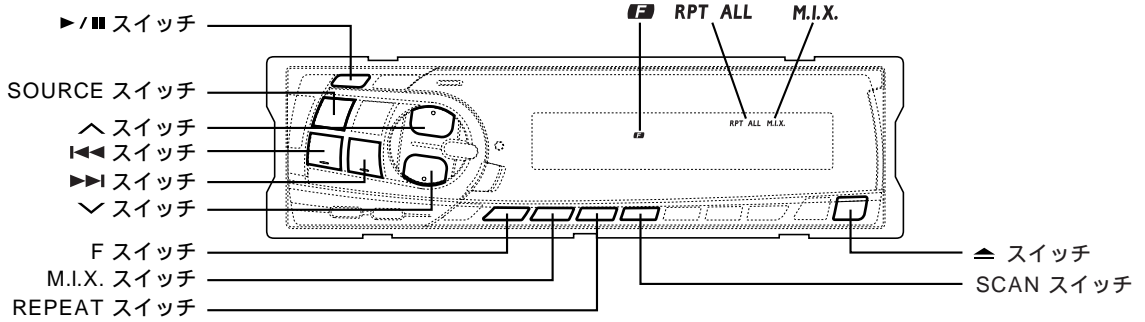
- 1 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。



- 2 5秒以内に「」または「」を押して、好みのレベルに調整する。



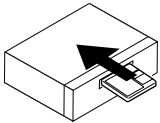
Memo SUB-W (サブウーハー) が「ON」に設定されている場合は、SUB-Wのレベル調整も行えます。詳しくは「サブウーハーを接続する」(15ページ)を参照してください。
モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
「」または「」を押し続けると連続で変化します。
使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。



MD操作 (MDM-7760Jのみ)

MD (ミニディスク) を聴く

- 1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ミニディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。
< 挿入時の注意 >
ラベル面を上にする。
ディスクに印字された矢印に従い、挿入する。



Memo すでにミニディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、MDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CHANGER
(チェンジャー接続時のみ)
イグニッションキーが「OFF」の状態では挿入しないでください。故障の原因になります。

- 3 「」または「」を押して、音量(0~35)を調整する。
- 4 「<<<」または「>>>」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し...「<<<」を押す。
早戻し.....「<<<」を押し続ける。

次の曲の頭出し.....「>>>」を押す。
早送り.....「>>>」を押し続ける。

T04 → T05

- 5 演奏を一時停止するときは、「>/||」を押す。
再度「>/||」を押すと、演奏が再開する。

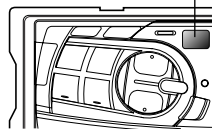
PAU

- 6 ミニディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ミニディスクは必ず取り出す。
- 7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。

MDM-7760Jはリモートコントロールに対応していますので、別売りモコン「RUE-4185など」から操作することができます。



リモコンセンサー部



曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

SCAN

- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。

チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く / 繰り返し聴く /
曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように
< **F** インジケータ>を点灯させてから、5
秒以内に各操作手順で行ってください。



- 1 「F」を押す。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、<RPTインジケータ>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。

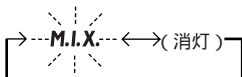


Memo チェンジャー接続時
「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを
繰り返し演奏させることができます。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

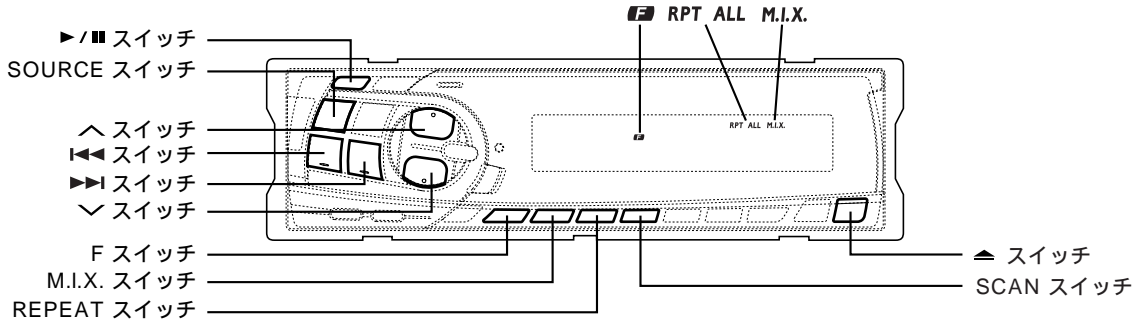
- 1 「M.I.X.」を押して、<M.I.X.インジケータ>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



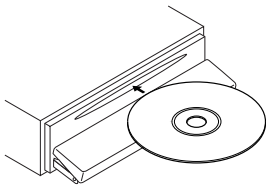
Memo チェンジャー接続時
・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順
不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動
していきます。
・M.I.X.演奏中に、「REPEAT」を押すことで、
「ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、その
ディスクを繰り返し演奏」させることがで
きます。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。



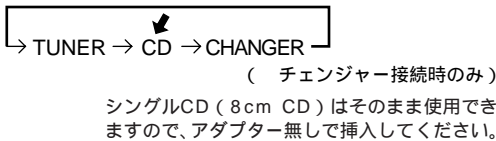
CD操作 (CDM-7870Jのみ)

CD (ディスク) を聴く

- 1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。
<挿入時の注意>
ラベル面を上にする。



Memo すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CDモードにする
と演奏がはじまります。



- 3 「」または「」を押して、音量 (0~35) を調整する。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し ... 「◀◀」を押す。
早戻し 「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
早送り 「▶▶」を押し続ける。

T04 → T05

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/■」を押す。
再度「▶/■」を押すと、演奏が再開する。

PAU

- 6 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。
- 7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

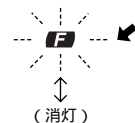
SCAN

- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。

チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く / 繰り返し聴く /
曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように
< F インジケータ -> を点灯させてから、各
操作手順で行ってください。



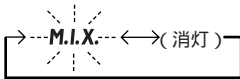
- 1 「F」を押す。



曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



Memo

チェンジャー接続時

- ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
 - ・M.I.X.演奏中に、「REPEAT」を押すことで、「ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、そのディスクを繰り返し演奏」させることができます。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



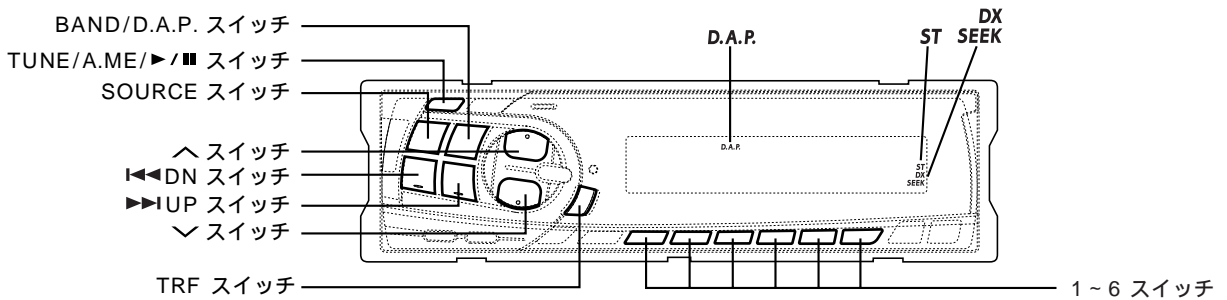
- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



Memo

チェンジャー接続時

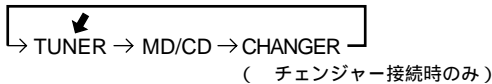
- 「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。



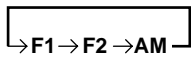
ラジオ操作

ラジオを聴く

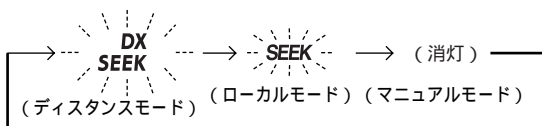
- 1 「SOURCE」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードになるとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)



- 2 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。



- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。



初期設定はディスタンスモードに設定されています。

- ・ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ・ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
- ・マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)
ディスプレイに<STインジケータ>が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)

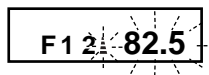
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。

81.3

- 5 「∨」または「へ」を押して、音量(0~35)を調整する。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「1」~「6」のうち1つを2秒以上押す。
表示している放送局が点滅する。

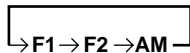


- 3 5秒以内に「1」~「6」のうち1つを押す。
押されたNo.に、放送局が記憶され、点滅から点灯に変わる。



放送局は24局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局、
FM+AM...6局(D.A.P.)
すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されますのでご注意ください。

自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。
- 
- 2 「A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

→F1→F2→AM

- 「1」～「6」のうち1つを押す。
選択した放送局が受信される。

F1 2 **82.5**


プリセットインジケータ
(「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。)

D.A.P.を利用する

D.A.P.とは 通常はバンドFM1にFM局だけ6つ、バンドAMにAM局だけ6つというように帯域毎に記憶します。D.A.P.を使うと「バンド」を意識することなく、6つのプリセットボタンにFMとAMを混在して記憶することができます。受信する放送局が限られているときなどに便利です。

D.A.P.の切りかえ

- 「D.A.P.」を2秒以上押して、D.A.P.の設定を切りかえる。

 (ON) ← (消灯) (OFF)

D.A.P.で放送局を記憶する

- D.A.P.がONのとき、放送局を選択して記憶させる。放送局の選択・記憶方法は「放送局を記憶する」(10ページ)または「自動的に放送局を記憶する」(10ページ)を参照。

D.A.P.で記憶した放送局を受信する

- D.A.P.がONのとき、「1」～「6」のうち1つを押す。選択された放送局が受信される。

^{D.A.P.}
FM3 **82.5**

道路交通情報を受信する
TRF (トラフィックインフォメーション)

- 「TRF」を2秒以上押す。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。

1620

- 「◀◀ DN」または「▶▶ UP」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。
- 解除するには、再度「TRF」を2秒以上押す。

 **Memo**

MD、CD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

チェンジャー操作 (チェンジャーを接続すると、MDM-7760J/CDM-7870Jから操作できます。)

チェンジャーでCDを聴く

- 「SOURCE」を押して、CHANGERモードにする。

→TUNER → MD/CD → **CHANGER**
(チェンジャー接続時のみ)

- ディスクNo.1～6を選ぶときは「1」～「6」のいずれかを押す。
「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。

- 「◀◀ DN」または「▶▶ UP」を押して、聴きたい曲(トラックNo.)を選ぶ。

D3 T08
ディスクNo. トラックNo.

- 「」または「」を押して、音量(0～35)を調整する。

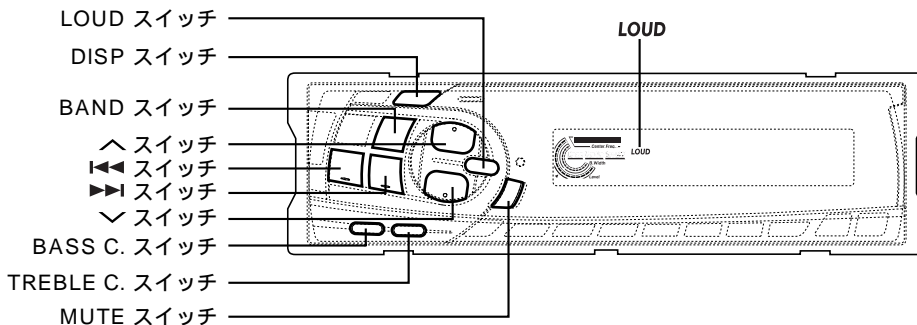
- 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。

PAU

再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。

 **Memo**

曲の早送り/早戻しをするには、「▶▶ UP」または「◀◀ DN」を押し続けます。チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く/曲順を変えて聴く/繰り返し聴く」については、MD操作(7ページ)、CD操作(8ページ)を参照。

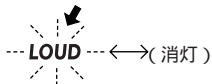


便利な機能

ラウドネス (LOUD) を使う

人間の耳は音が小さくなると高音や低音が聴こえにくくなります。この音域の不足感を補うために高音・低音を強調させ、聴きやすくさせることができます。

- 1 「LOUD」を2秒以上押して、<LOUDインジケータ ->を点灯させる。



- 2 解除するには、再度「LOUD」を2秒以上押す。

ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

低音を強調する (バスセンター周波数)

お聴きになる音楽ソフトに合わせて強調したい周波数 (低音) を設定 / 調整することができます。

- 1 「BASS C.」を押す。
- 2 5秒以内に下記のそれぞれの設定 / 調整を行う。

バスセンター周波数の設定

設定した周波数の音域 (低音) を強調する。

- 1) 「**左左**」または「**右右**」を押して、周波数を選ぶ。

60Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 200Hz

バス帯域幅の設定

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができる。

- 1) 「BAND」を押して、帯域幅を設定する。

→ B.Width 1 → B.Width 2 → B.Width 3 → B.Width 4

(広い) <-----> (狭い)

バスレベルの調整

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができる。

- 1) 「」または「」を押して、お好みのBass Level (-7 ~ +7) を選ぶ。



5秒間、設定 / 調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。

高音を強調する (トレブルセンター周波数)

お聴きになる音楽ソフトに合わせて強調したい周波数 (高音) を設定 / 調整することができます。

- 1 「TREBLE C.」を押す。
- 2 5秒以内に下記のそれぞれの設定 / 調整を行う。

トレブルセンター周波数の設定

- 1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

10kHz ↔ 12.5kHz ↔ 15kHz ↔ 17.5kHz

トレブルレベルの調整

トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができる。

- 1) 「**-**」または「**+**」を押して、お好みのTreble Level (-7 ~ +7) を選ぶ。



5秒間、設定 / 調整の操作を行わずにいると自動的に通常のモードに戻ります。

レベルインジケータの表示パターンを切りかえる

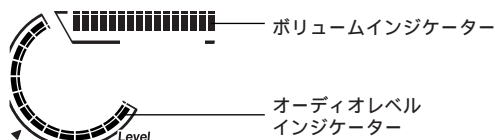
オーディオレベルインジケータの表示パターンを切りかえることができます。

- 1 「DISP」を押して、希望の表示パターンを選ぶ。

→ パターン1 → パターン2 → OFF →

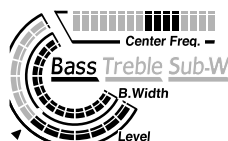
パターン1

ボリュームインジケータとオーディオレベルインジケータが点灯する。



パターン2

Bass engine表示部に設定した内容を表示する。



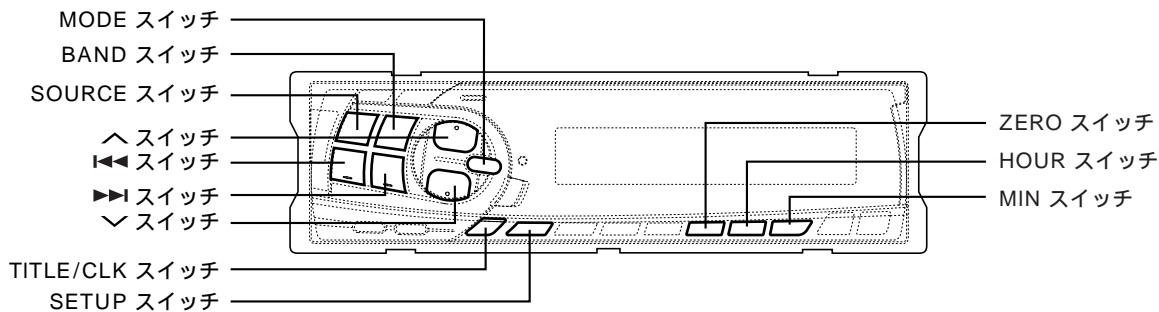
表示例は、「バスセンター周波数 100Hz」「バス帯域幅 B.Width 1」「バスレベル -6」に設定されている場合。

OFF

Bass engine表示部が消灯する。

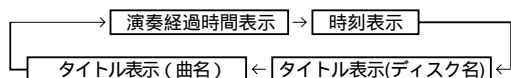


パターン2表示は、初めに設定したモードより後から設定したモードの内容を表示します。例えば、「バスセンター周波数」の設定、次に「トレブルセンター周波数」を設定した場合、後から設定した「トレブルセンター周波数」が有効となり表示されます。



MDタイトルを表示する / スクロールする (MDM-7760Jのみ)

- MDモードのときに、「TITLE」を押して、ディスクタイトル表示またはトラックタイトル表示に切りかえる。



タイトルとは
 本機以外の製品で入力した文字を表示することができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

スクロールとは
 文字を次々と表示させることを言います。表示する文字が8桁を超える場合に便利です。本機では、ディスクのローディングが完了したときや曲が変わったときにスクロール表示します。再スクロールを行うには、「TITLE」を3秒以上押します。

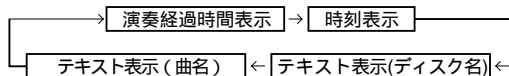


タイトルが入っていない場合は **NO TEXT** と表示されます。
 本機はカタカナ表示はできません。
 本機では、タイトル入力することはできません。

CDテキストを表示する / スクロールする (CDM-7870Jのみ)

- CDテキスト対応の音楽CD演奏中に、ディスク名 / トラック名などを表示させることができます。

- CDモードのときに、「TITLE」を押して、ディスクテキスト表示またはトラックテキスト表示に切りかえる。



テキストとは
 あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

スクロールとは
 文字を次々と表示させることを言います。表示する文字が8桁を超える場合に便利です。本機では、ディスクのローディングが完了したときや曲が変わったときにスクロール表示します。再スクロールを行うには、「TITLE」を3秒以上押します。

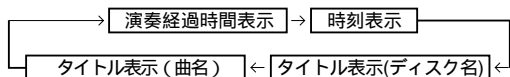


テキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示されます。

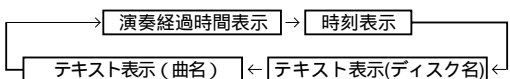
時刻を表示する

- 1 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。

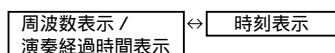
(MDモードのとき)



(CDモードのとき)



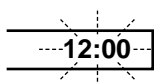
(TUNER / チェンジャーモードのとき)



時刻を表示している状態で、ラジオ / MD、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。
電源がOFFの状態でも、車のイグニッションキーがONのとき、「CLK」を押すと時刻表示を行います。
本機はカタカナ表示には対応していません。

時刻を設定する

- 1 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。
更に「CLK」を3秒以上押す。
時刻が点滅して、調整モードに入る。



- 2 5秒以内に「HOUR」を押して、「時間」を調整する。
- 3 5秒以内に「MIN」を押して、「分」を調整する。



どのモード(MD、CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。
時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ZERO」を押すと分表示が00となります。「:30」を超えた表示のときに「ZERO」を押すと「時」は繰り上がります。

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

サブウーハーを使うには、ローパスフィルター(一定の周波数以下の成分を通すフィルター)内蔵アンプをお使いください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SUBモードを選ぶ。

↓
SUB ↔ AUX

- 3 「BAND」を押してSUB-W ONにする。

↓
SUB-W ON ↔ SUBW OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。
- 5 「MODE」を押してSUB-Wモードを選び、「 」または「 」を押して、サブウーハー出力レベルを調整する。

外部入力の設定

別売のM-BUS/RCA変換ケーブル(KCM-122B)と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。

↓
SUB ↔ AUX

- 3 「BAND」を押して、AUX ONにする。

↓
AUX OFF ↔ AUX ON
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。
- 5 「SOURCE」を押して、AUX(外部入力)モードを選び、音量などを調整する。

↓
→ TUNER → MD(CD) → AUX



AUX ONの場合、チェンジャーが接続されていても、チェンジャーモードを選ぶことができません。



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- スピーカーの接続
純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
スピーカーは、インピーダンスが3.2～8のものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について
MD/CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して30度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げの店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

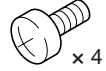
電源コード



サラネジ
(M5×8)



バインドネジ
(M5×8)



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 取り付けの2. で利用します。）

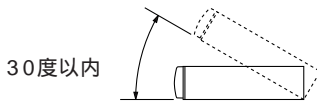
3. 接続する

- 17ページの基本接続図を参照して接続する。
他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。（18ページ参照）御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点もれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4. 取り付ける

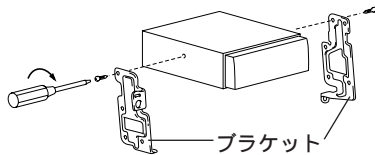
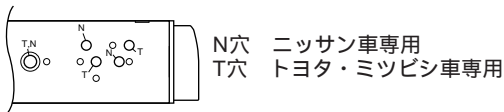
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



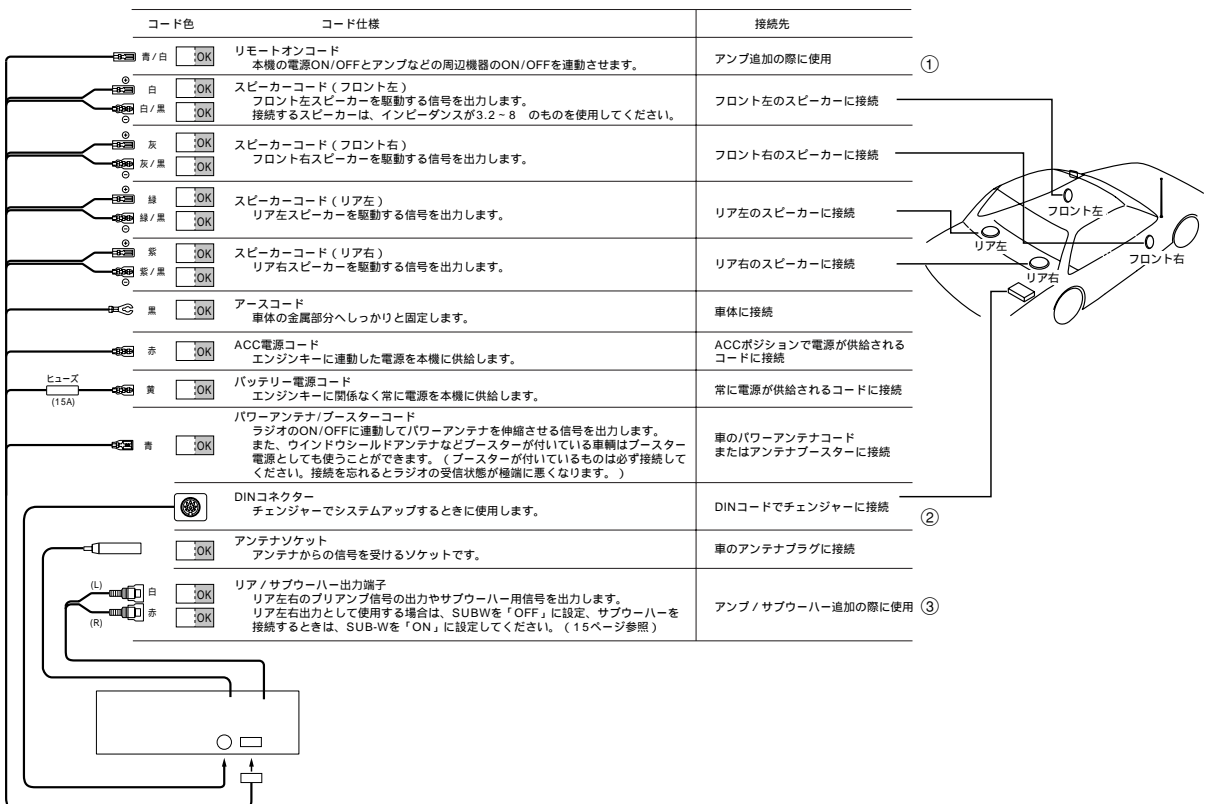
3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

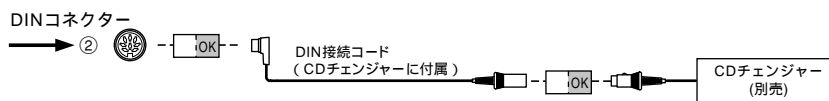
基本接続図

本機とスピーカー、チェンジャーを接続する基本的な接続です。



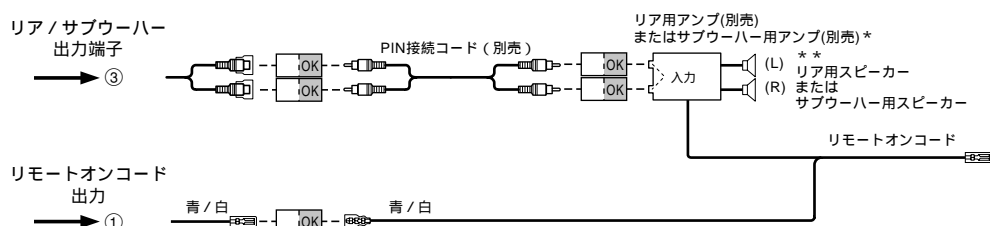
他製品との接続

1) CDチェンジャー (Mini-Bus) を接続する



チェンジャーは1台のみ接続可能です。

2) 外付けアンプを接続する



*ローパスフィルター用アンプが必要です。

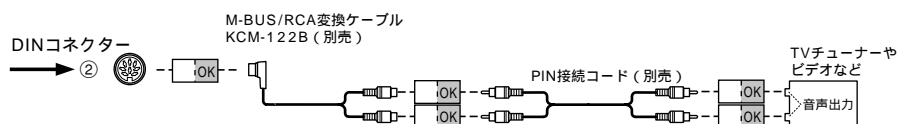
**サブウーハーOFF設定時：リア出力
サブウーハーON設定時：サブウーハー出力

サブウーハーのON/OFF設定は、「サブウーハーを接続する」(15ページ)を参照ください。

3) 外部入力にビデオなどを接続する



「外部入力の設定」(15ページ)を参照してください。
外部入力の場合は、チェンジャーは接続できません。



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P21）にご相談ください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ・ヒューズが切れている。
- ・規定容量のヒューズと交換する。(P17)
- ・内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
- ・リセットスイッチをボールペンの先などで押す。(P4)

電源が入るが音が出ない。

- ・音量レベルが最小になっている。
- ・音量レベルを上げる。(P5)
- ・MUTEがONになっている。
- ・MUTEを解除する。(P12)
- ・フェーダーの設定が適切でない。
- ・2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(P5)

記憶させた内容が消えてしまった。

- ・リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
- ・もう一度記憶する。(P4, 10, 11, 15)

- ・バッテリーコードの接続ミス
- ・接続を確認する。(P17)

ディスプレイが暗い。

- ・気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
- ・しばらく待つ。

MD部

MDが入らない。

- ・すでに別のMDが入っている。
- ・MDを取り出してから入れ直す。

- ・MDの入れかたが間違っている。
- ・本書を参照し、正しく入れる。(P6)

演奏が始まらない。 / 音がとぶ。 / 音が歪む。 / 早送り / 早戻しができない。

- ・車内温度が50 以上ある。
- ・車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。

- ・MDに傷がついている。 / MDがひどく汚れている。 / 録音状態が良くない。 / 音楽用MDでない。
- ・他のMDを再生してみる。

- ・結露している。
- ・しばらく放置してから使う。

- ・ピックアップレンズが汚れている。
- ・メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)(P21)

CD部

ディスクが入らない。

- ・すでに別のディスクが入っている。
- ・ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。 / 音がとぶ。 / 音が歪む。 / 早送り / 早戻しができない。

- ・車内温度が50 以上ある。
- ・車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。

- ・ディスクに傷が付いている。
- ・ディスクがひどく汚れている。

- ・録音状態が良くない。
- ・音楽用ディスクでない。
- ・他のディスクを再生してみる。

- ・結露している。
- ・しばらく放置してから使う。

- ・ピックアップレンズが汚れている。
- ・メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)(P21)

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ・ディスクの側面 / センターホールにバリがある。
- ・ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



- ・ピックアップレンズが汚れている。
- ・市販のレンズクリーナーディスクは、ご使用にならないでください。(お問い合わせ窓口へ)(P21)

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- ・アンテナが接続されていない。
- ・アンテナが確実に接続されているか確認する。

- ・アンテナが伸びていない。
- ・アンテナを伸ばす。

- ・放送局の周波数が合っていない。
- ・周波数を正しく合わせる。(P10)

- ・周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
- ・見通しが良いところに移動する。

- ・アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
- ・アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- ・電波の弱い地域にいる。
- ・ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。(P10)

メッセージが表れたら... (MD/CD部)

T --- ---

- ・ディスクが入っていない。
- ・ディスクを入れる。
- ・ディスクが入っているが、「T--- ---」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
- ・次の方法でディスクを取り出す。
 - ①「▲」を押す。可動ディスプレイが開く。
 - ②可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を3秒以上押す。

HI TEMP

- ・車内温度が高すぎる。
- ・車内温度を常温まで下げる。

ERROR

- ・ディスク傷、ディスク汚れ。 / 録音状態が良くない。 / 音楽用ディスクでない。
- ・「▲」を押して、ディスクを交換する。
- ・メカニズムエラー。
 - ・①「▲」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
 - ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
 - ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

NO TEXT

- ・テキストが入力されていない。
- ・CDテキスト対応のCDと交換する。
- ・MDにタイトルが入っていない。

メッセージが表れたら... (CDチェンジャー部 (オプション))

NO MAGZN

- ・マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。
- ・マガジンをCDチェンジャーにセットする。

NO DISC

- ・ディスクが入っていない。
- ・ディスクを入れる。

HI TEMP

- ・車内温度が高すぎる。
- ・車内温度を常温まで下げる。

ERROR-01

- ・ディスクがマガジンに戻っていない。
- ・①「▲」を押す。
 - ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。
- ・メカニズムエラー。
 - ・①「▲」を押す。
 - ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
 - ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM ; 0.8 μ V (75) : 9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 35dB以上
SN比	FM ; 65dB以上
周波数特性	FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

MD部

周波数特性	20Hz ~ 20kHz (\pm 0.5dB)
ダイナミックレンジ	90dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

この製品はドルビーラボラトリーライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

CD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.01% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	⊙アース
最大出力	45W \times 4
出力レベル	500mV / 10k
バスコントロール	\pm 14dB (60Hz)
トレブルコントロール	\pm 14dB (10kHz)
外形寸法	178 (幅) \times 50 (高さ) \times 155 (奥行) mm
重量	1.5 kg

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。

必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。

保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いとき

まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いとき

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または21ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口へ、修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品

製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または21ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊れたりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

(般)

(平成12年9月1日現在)

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

・ FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711
・ 電話受付時間 平日9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

営業所・販社名	電話番号	住 所
北関東営業所	028-636-2931	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷4丁目2番20号
東京営業所	045-541-7261	K.Dビル 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地
千葉営業所	043-271-5950	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷6-26-14 須藤ビル3F
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中区猪子石3丁目108番地
静岡出張所	054-283-0171	〒422-8032 静岡県静岡市有東3丁目9番1号 2F
関西営業所	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
アルバイン北海道 (株)	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル
アルバイン東北 (株) 仙台office (青森・ 岩手・秋田・宮城・ 山形・福島)	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号
アルバイン中四国 (株) 岡山営業所 広島営業所 高松営業所 愛媛出張所	086-243-8257 082-846-1175 087-969-3086 089-958-4707	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2-11-16 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11 〒791-1104 愛媛県松山市北土居町443-1 エクセル12 1-B

営業所・販社名	電話番号	住 所
アルバイン九州 (株) 福岡office 長崎office 熊本office 鹿児島office	092-513-1071 0957-27-1581 096-213-7118 099-253-7215	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1-12-22 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3-13 〒862-0929 熊本県熊本西原2-32-29 〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上6-27-15
アルバイン関西 (株) 高崎営業所 松本営業所	0273-61-5813 0263-48-4772	〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16-6 〒390-0852 長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
アルバイン近畿販売 (株) 阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町4丁目57番地 サンライズ中百舌鳥103号
滋賀営業所	077-566-1140	〒525-0036 滋賀県草津市草津町1660番地
アルバイン新潟販売 (株)	025-270-7021	〒950-0862 新潟県新潟市竹尾764番地6号
アルバイン埼玉販売 (株)	048-664-7701	〒331-0852 埼玉県大宮市桜木町3丁目179番地
東京アルバイン販売 (株)	03-3253-2635	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1の13
アルバイン北陸販売 (株)	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号
アルバイン三重販売 (株)	0593-80-0220	〒510-0235 三重県鈴鹿市南江島7-14
アルバイン京都販売 (株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町113番地の1
アルバイン兵庫販売 (株)	078-681-9711	〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
アルバイン高知販売 (株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号
(株)パルス	0988-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3

修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道	アルバインカスタマーズ サービス (株) 札幌	011-642-1688	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目 2番1号
青森・岩手・秋田 山形・宮城・福島 栃木・茨城・群馬 東京・神奈川・埼玉 千葉・新潟・長野 山梨	アルバインカスタマーズ サービス (株) 大宮	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町1-664
静岡・愛知 三重・岐阜	アルバインカスタマーズ サービス名神 (株) 中部	052-760-0850	〒465-0021 愛知県名古屋市中区猪子石3丁目 108番地
福井・富山・石川	アルバインカスタマーズ サービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
滋賀・京都・大阪 和歌山・奈良・兵庫	アルバインカスタマーズ サービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
岡山・鳥根・鳥取 広島・山口・香川 愛媛・徳島・高知	アルバインカスタマーズ サービス西日本 (株) 岡山	086-244-8163	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
福岡・佐賀・大分 熊本・長崎・鹿児島 宮崎・沖縄	アルバインカスタマーズ サービス西日本 (株) 福岡	092-513-1081	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目 12番22号

その他

修理ご相談窓口

名称	電話番号	住所
北海道		
西島家電事札幌店	011-762-0458	〒001-0925 札幌市北区新川5条2丁目3-18
北欧電子(株)	011-661-2414	〒063-0033 札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48-8181	〒041-0824 函館市西栲楼168番地02
千代田電装工業(株)	0166-22-8451	〒070-0034 旭川市四条通2丁目上8-9-10
(有)北網通信機	0157-61-3843	〒090-0058 北見市高末西町6丁目4番4号
青森県		
(有)太陽電機	0178-45-5300	〒031-0071 八戸市沼館1-9-5
三昌電装	0178-29-4410	〒039-1163 八戸市高州2丁目23-16
岩手県		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172 岩手郡滝沢村轟駒字上高柳64
秋田県		
管電装	0188-68-2761	〒010-0802 秋田市外旭川鳥島塚212-2
山形県		
カーサウンドサイト	0236-24-8953	〒990-2321 山形市桜田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	〒998-0841 酒田市松原南21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	〒983-0005 仙台市宮城野区福室字産興35
ササキサウンド	022-278-7117	〒981-0941 仙台市青葉区菊田町6-13
(合)佐々木電化商会	022-362-4332	〒985-0045 塩釜市西玉川11-20
大田代電機	0225-22-4996	〒986-0833 石巻市日和ヶ丘4-1-10
フジ電装	0229-23-8266	〒989-6143 古川市中央1丁目12番5号
福島県		
(有)長南電機	0245-45-5161	〒960-8153 福島県岩岩の巻5-1
芳広通信機サービス	0249-43-5876	〒963-0101 郡山市安積町日出山1丁目95-3
エンドー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-8035 郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートデンソールマヤマ(郡山店)	024-945-5388	〒963-0111 郡山市安積町荒井字方八丁5-2
(会津支店)	0242-24-1717	〒965-0006 会津若松市北町大字藤室字横道33-1
(白河店)	0246-23-4555	〒961-0076 白河市五番町川原50番地の1
茨城県		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	〒310-0844 水戸市住吉町64
(株)日本電機サービス茨城	0292-43-0516	〒310-0851 水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	〒320-0851 宇都宮市鶴田町1362-2
サウンドサービス	028-653-8623	〒321-0131 宇都宮市内宮内1-173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス(北関東)	0278-46-5885	〒373-0818 太田市小鼻木町377
グリニックスサービス	0273-82-5024	〒379-0132 安中市高別当709-1
長野県		
恩田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705 塩尻市広丘駅西2146-339
オーディオサービスヨシムラ	026-226-4199	〒380-0021 長野市栗田683-4 アズマビル2F
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0964 新潟市堀川原2-43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	〒940-2112 長岡市大島本町5-118-10
(有)トミザワテクノ	025-270-7021	〒950-0862 新潟市竹尾764番地6号
東京都		
アース電機(株)	03-3758-7821	〒146-0095 大田区多摩川2-9-17
アラビ電機産業(株)	03-3925-1602	〒179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	〒167-0042 杉並区西荻北1-8-20
(株)キャリアサービス	03-3671-7001	〒133-0051 江戸川区北小岩1-11-7
三共無線(有)自黒営業所	03-3719-3525	〒153-0042 目黒区黒葉台1-27-15
(有)テクニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051 北区浮間2-6-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	〒197-0803 あきる野市瀬戸町255
叶電機	0425-51-9350	〒197-0011 福生市福生2241番地 P108号
ALサンライズ	0425-97-4954	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井2040
神奈川県		
(株)日本電機サービス(神奈川)	045-953-2510	〒241-0031 横浜市旭区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-934-9091	〒226-0023 横浜市緑区小山町292-7
(株)エルアエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022 横浜市西区花咲町4丁目116番地
埼玉県		
アルパイン埼玉販売(株)	048-664-7701	〒331-0852 大宮市桜木町3-179
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	〒331-0043 大宮市大成町4-36-1
千葉県		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-232-5132	〒264-0022 千葉市若葉区桜木町471-8
静岡県		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	〒420-0804 静岡市電南1-16-1
(株)加藤自動車音響商会	053-461-6781	〒435-0043 浜松市宮竹町149-1
三和電子サービス(株)	053-448-8551	〒432-8061 浜松市入野町9156

名称	電話番号	住所
愛知県		
(株)日本電機サービス(名古屋)	052-702-1071	〒465-0067 名古屋市名東区猪苗町大字高針字メクソ10-1
(株)センターコバヤシ	052-881-3400	〒466-0059 名古屋市昭和区瑞江3丁目1-40
名電機機(株)	052-761-5306	〒466-0853 名古屋市昭和区川原通11-2
名電機器商会	052-241-9797	〒460-0007 名古屋市中区新栄3-11-24
渡辺電機商会	052-914-3321	〒462-0023 名古屋市北区安井1-11-1
牧サービス電機	052-793-6844	〒463-0081 名古屋市守山区川宮町394-1
(有)前田電機	052-561-5110	〒451-0051 名古屋市西区則武新町2丁目25番地4号
サカタ電機	052-805-7887	〒468-0043 名古屋市天白区曾田2丁目701
(有)横井計器	0562-48-5223	〒474-0061 大府市共和町(ちよう)6-262-1
フジサウンド(株)	0587-55-8511	〒483-8222 江南市赤雲町藤宮41
三重県		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)今尾電機	0593-82-1287	〒513-0816 鈴鹿市南玉垣町543-1
広音響サービス	0596-23-4531	〒516-0071 伊勢市一之木4丁目586
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒939-0413 射水郡大門町串田1268
石川県		
辰口電機	0761-51-2498	〒923-1201 能美郡辰口町若内口75-2
福井県		
(株)パーメンテサービス	0776-35-8182	〒918-8015 福井市花堂南1丁目5-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541 蒲生郡蒲生町蒲生堂338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153 京都市西京区大原野南春日388
電装整備(株)	075-821-5843	〒602-8365 上京区丸太町御前通上ル
ヤハタ電気	075-605-1903	〒612-8474 京都市伏見区下鳥羽円面田町45-1 トロス1F
大阪府		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0601	〒533-0001 大阪市東淀川区井筒4丁目6-27
サコエオーディオ	06-6768-0597	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町3-15 ダイカツビル1F
タツミ電気商会	06-6573-3605	〒552-0007 大阪市港区弁天3-1-4
フジオオーディオサービス	0722-23-8695	〒590-0074 堺市北花田町1-2-27
和歌山県		
ミノト電機商会	0734-23-0681	〒640-8251 和歌山市南中間町48
奈良県		
エルバック(株)	0742-36-8700	〒630-8132 奈良市大森西町21-26
兵庫県		
シンオサービス	078-652-1099	〒652-0873 神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3646	〒652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-8 浅沼マンション1F
(有)ケーイー神戸サービスセンター	078-811-6559	〒657-0036 神戸市灘区桜口5-2-20 第6甲センタービル
(株)細道電子	078-302-6615	〒650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目25-3
太子電器	0792-77-3703	〒671-1523 播磨郡太子町東南字小川1647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058 岡山市並木町2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	〒719-1173 都窪郡清音村黒田14
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	〒733-0012 広島市西区中広町2丁目3番12号
(有)伸栄サービス	0849-31-3761	〒721-0366 福山市手塚町1丁目2-31
香川県		
(株)松岡電機サービス	087-843-1040	〒761-0102 高松市新田町字谷北甲470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112 松山市南高井町1982-3
徳島県		
みの電子パーツ	0886-53-2812	〒770-0801 徳島市上助任町大坪182-4
高知県		
ナカムラ	0888-32-4548	〒780-8027 高知市高見町303番地1
(株)シキデン	0888-83-5101	〒780-0056 高知市北本町3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7858	〒816-0032 福岡市博多区東那珂2丁目14-26-1
池田電機	093-571-1355	〒803-0841 北九州市小倉北区清水1丁目20-9
中元電器	0948-22-4830	〒820-0011 飯塚市大字柏の森13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	〒830-0052 久留米市上津町1651-2
佐賀県		
佐賀テクニカルサービス	0952-33-5343	〒849-0932 佐賀市鶴岡町大字八戸南1252-13
大分県		
頼田電機サービス	0975-67-1967	〒870-0927 大分市北下町11組07
熊本県		
大塚電機	096-372-1403	〒860-0811 熊本市本庄2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	〒855-0801 島原市高島2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	〒859-3241 佐世保市有福町576-1
沖縄県		
(株)パルス	0988-66-1916	〒900-0003 那覇市安謝217番地3

(般)

Q7 当商品の購入形態は？(あてはまる番号に を付けてください。)

Q7-1(買い替え / 買い増しの方へ) 以前ブランドは何がお答えください。

Q8 当商品を購入するきっかけとなった情報は何ですか？(印はいくつでも)

Q9 当商品を購入する際、比較・検討したメーカーはありますか？(印は2つまで)

Q9-1(他メーカーと比較した方へ) 比較検討した結果、当商品を購入した理由をお答えください。

Q10 当商品を購入するときに重視した項目についてお答えください。(印はいくつでも)

Q10-1. そのうち最も重視した項目は何ですか？(ひとつだけ)

Q11 当商品をお使いになってみて、追加して欲しい機能等ございましたら、お聞かせください。

Q12 当商品を購入する際、重視した仕様についてお答えください。(印はいくつでも)

Q13 現在装着システムについてお答えください。(下記を参考に記入してください。)

1. 装着欄：

今回から購入したもの(当商品および当商品と同時購入).....

以前から装着しているもの..... x

装着していないもの..... x
* 装着しているものについては、メーカー名とモデル名をご記入ください。

* 装着していないものについては、2.の購入予定についてお答えください。

2. 今後購入欄：

今後購入を考えている.....

興味はあるが、今のところ購入予定はない.....

購入予定はない..... x

Q14 当商品の取り付けは、どなたが行いましたか？(印は1つだけ)

Q15 当商品にどの程度満足していますか？(印は1つだけ)

Q16 当商品に対し、購入前に期待していた内容通り、評価できる点等ございましたらお聞かせください。

Q16-1. 当商品に対し、改善要望等ございましたらお聞かせください。

Q17 カーオーディオの音質についてあなたは、どのような基準でお考えですか。(印は2つまで)

Q18 カーオーディオのデザインについてあなたのお考えをお聞かせください。(印は1つだけ)

Q19 車についてあなたのお考えをお聞かせください。(印は1つだけ)

Q20 お持ちの家庭用機器についてお聞かせください。(印はいくつでも)

Q21 今後、より良い商品開発のためにご意見等をお伺いさせて頂く機会があった場合、ご協力いただけますか？

A7	1. 初めての購入 2. 買い替え 3. 買い増し	A7-1	以前のブランドは? 1. 純正/オプション 2. アルパイン 3. その他()					
A8	1. 雑誌の記事・広告 6. 店員のアドバイス	2. 新聞の記事・広告 7. 友人・知人	3. カタログ 8. ショー/イベント	4. ホームページ 9. その他()	5. 店頭デモ			
A9	1. 比較・検討なし 6. パナソニック	2. パイオニア 7. 純正/オプション	3. ケンウッド 8. その他()	4. クラリオン 5. ソニー				
A9-1	1. アルパインの評判 5. 価格	2. 製品の良さ 6. 同じメーカーで揃えたかった	3. 店員に薦められて 7. その他()	4. 友人・知人に薦められて				
A10	1. 音質 6. パワー	2. 機能 7. 価格	3. 性能・スペック 8. ブランド	4. 外観・デザイン 9. 操作性	5. イルミネーション			
A10-1	[] 上記項目の中からお選び頂き番号をご記入ください。							
A11	追加して欲しい機能/フィーチャー							
A12	1. TEXT (CDM-7870J) 4. プリアウト 7. BASSコントロール	2. サブウーハーレベルコントロール 5. 45W x 4ch 内蔵アンプ	3. レベルインジケーター 6. チェンジャーコントロール					
A13	装着システム	装着	今後購入	メーカー名	機種名(モデルNo.)			
	当商品			アルパイン	MDM-7760J/CDM-7870J			
	CDチェンジャー							
	MDチェンジャー							
	外付アンプ							
	市販スピーカー							
	サブウーハー							
	アンプ付サブウーハー							
	カーTV							
	カーナビゲーション							
	その他()							
A14	1. 自分	2. 購入店	3. 別の販売店・取付店	4. 友人・知人・家族	5. その他			
A15	1. 非常に満足	2. まあ満足	3. やや不満	4. 不満				
A16	期待通りに評価できること							
A16-1	改善要望							
A17	1. 透明感のある音 4. バランスのとれた音	2. 臨場感のある音 5. 低音、高音が強調された音	3. 音圧(低音)の効いた音 6. 音質にはこだわらない					
A18	デザイン	車内の内装に溶け込むような落ち着いたデザインを好む	1	2	3	4	5	存在感のある派手めなデザインを好む
A19	車	車は移動手段である	1	2	3	4	5	車にはかなりこだわる方である
A20	1. 携帯電話	2. PDA	3. ノート型PC	4. デスクトップ型PC	5. MDプレイヤー	6. DVDプレイヤー		
	7. ポータブルMD	8. ポータブルCD	9. 半導体/ICオーディオ	10. デジタルカメラ	11. CD-R	12. DVD-R		
A21	1. 是非協力したい	2. 協力してもよい	3. 協力出来ない					

料金受取人払

大崎局承認

8861

差出有効期限
平成15年3月31日
(切手不要)

1 4 1 - 8 7 9 0

101

東京都品川区西五反田1丁目1番地8号

アルパイン株式会社

CS推進部 ご愛用者カード係

行



モデル名: MDM-7760J CDM-7870J	製造番号: 保証書をご覧ください。
------------------------------	-------------------

(フリガ) _____ 〒 _____ 都道 ご住所 _____ 府県

(フリガ) _____ ご氏名	TEL : _____ 携帯 : _____
--------------------	---------------------------

E-mail: _____ パソコン用アドレス ----- 携帯電話用アドレス
--

生年月日: (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日生 _____ 歳 (男・女) (未婚・既婚)

ご職業: 1. 学生 2. 事務職 3. 営業職 4. 技術職 5. 技能・労務職 6. 会社役員・経営者
7. 自営業 8. 自由業 9. 専業主婦 10. パート・アルバイト 11. その他()

ご購入店名: _____ ご購入年月: _____ 年 _____ 月

Q1 当商品を装着した車についてお聞かせください。
メーカー () 車種名 () 排気量 (cc)
年式 (S・H 年 月) 購入年月 (S・H 年 月) 購入時 (1. 新車 2. 中古車)
ボディタイプ 1. セダン 2. ハードトップ 3. クーペ 4. ハッチバック 5. ステーションワゴン
6. ミニバン/ワンボックス 7. オフロード4WD 8. その他 ()

Q2 お持ちのオーディオソフトについてお聞かせください。 _____ カセットテープ(本)
12cm CD (枚) 8cm CD (枚) 再生専用MD (枚) 録音用MD (枚)

Q3 車の中でよくお使いになるソースをお答えください。(はいくつでも)
1. CD 2. MD 3. カセット 4. ラジオ 5. NAVI 6. TV 7. DVDビデオ 8. VHSビデオ 9. その他 ()

Q4 あなたのご趣味をお聞かせください。
() () ()

Q5 よくお読みになる雑誌名をお答えください。
() () ()

Q6 アルパイン商品のお買い求めは、何回目ですか? 1. 初めて 2. 2回目以上
(2. 2回目以上とお答え頂いた方へ) 以前ご購入頂いた商品は? (1. オーディオ 2. カーナビゲーション 3. その他)

(裏面へ続く)

このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
弊社ではお客様により満足いただける製品を目指して、お客様のご意見を伺うアンケートを実施しています。お手数でもご記入の上、きりとり線から切り取ってご返送いただきますようお願い申し上げます。(製品に該当しない項目は未記入で構いません)